

## 【基本理念】

私たち職員は、県営医療の根幹である「県民に平等な医療の恩恵を」の精神を受け継ぎ、患者さんに「誠実と医学で支える良質な医療」を提供し、地域の人々に愛される病院づくりを進めます。

## 年度初めのごあいさつ

院長 川村 秀司

平成30年は平昌オリンピック・パラリンピックで幕が明けました。開幕前から政治絡みの話題で混乱を招きましたが、冬季オリンピック至上最多のメダル13個獲得もさることながら、各々の競技を通じてまたもや我々に勇気と感動を与えてくれ、心の1ページに残る大会でした。

さて江刺病院は新メンバーを迎え、今年度も皆様と協力し合い、気持ち新たに任務を遂行して参りたいと思っております。新採用、転入者の方々におきましては新たな風を入れつつ早く江刺に慣れて頂き、活躍してくれることを望みます。

昨年度を振り返ってみますと、7月に行われた病院機能評価更新受審(3rd G 1.1)が大きな行事であったと思います。一昨年から日常業務の傍らで準備を始め、無事合格できたことに対し改めて皆様に厚く御礼申し上げます。準備期間や受審中は皆様の団結力が垣間見え、頼もしくも嬉しく感じた次第です。大変お疲れ様でした。また、患者さん、そのご家族の憩いの場と中庭の有効利用として“ウッドデッキ(含ベンチ)”の整備計画も順調に進み、完成まで残すところあと僅かとなりました。2月からのスタッフステーションの拡張工事も無事終了し、また少し環境が改善しました。3月には地域包括ケア病床(16床)を立ち上げました。これは今後の超高齢少子化時代に向けて、地域包括ケアシステムを支え収益を確保するために必要不可欠な取り組みです。ベッドコントロールで大変だと思いますが、しっかりと継続していきたいと思えます。昨年度から取り組んだ水沢学苑の老年看護学実習では、患者さんから喜ばれ、我々職員にも良い刺激を与えてくれました。さらに実習を終えた学生、先生方から感謝と微笑ましい感想を頂きました。実習に臨みやすい環境を提供して頂いた職員の皆様に改めて感謝申し上げます。

冒頭でオリンピックの話題を述べましたが、女子団体パシュートで『金』、カーリング女子で日本初の『銅』メダル獲得は強烈に記憶に刻まれました。この2種目に共通することは“チームプレー”です。女子団体パシュートの決勝相手は全て金メダリスト、体格差もあり普通にみればハンディを背負った状況での試合でした。それにも関わらず、“チーム力”がもたらす最大の効果が証明されました。カーリング女子においても、危機的な状況下でも互いを信じ、常に明るく振る舞う姿は爽やかでした。

(次へつづく)





中小病院として今我々が置かれている状況は基幹病院と比べ人員、設備等全てに於いて“不足”の印象の一言、ではないかと思えます。医師確保をとってみても医師・診療科の偏在、加えて新専門医制度は地方において不利な状況となっています。しかし、そういう時こそ無いものねだりではなく、いま話題の「働き方改革」も含め、その不足分をどのように補うか、皆で知恵を出し合って乗り越えていくべき時だと思えます。まさしく『チーム医療』です！ 団塊の世代が全て75歳以上となる2025年まで8年を切りました。いよいよ超高齢少子化多死時代に突入しようとしています。今後地域医療構想や地域包括ケアシステムは一層深化し、医学教育や病院医療も大きく変容してくると思われま。単に個別点数の増減や目先の加算に惑わされることなく、確実に到来する20年先、50年先の医療・介護の在り方を読み取ってイメージし、それに向けた対策を講じ始める必要があります。好むと好まざるに拘わらず時代は変化し、その中で自らの行動を見直し“変革”することが求められます。

今年の大きな課題は、①地域医療構想に向けた地域包括ケア病床稼働の維持 ②地域包括ケア病床の改修工事並びにその他環境整備計画 ③来年9月から稼働する電子カルテの導入準備 ④地域包括ケアシステムに対する当院の立ち位置の検討・確立 ⑤中庭ウッドデッキの最終工事等を挙げました。ご協力の程宜しくお願いいたします。

医療・介護は地域住民にとって安心の象徴であり、町づくりの中心となるものです。ありきたりではありますが我々の使命は地域の医療ニーズにきちんと対応することが基本であると思えます。一人一人が誰かのことを思い、出来る範囲で最大限の能力を発揮し合える病院になることを願います。それでは皆様のご健勝とご活躍をお祈りして今年度も宜しくお願いいたします。

## 退任のごあいさつ

総看護師長 小谷地 孝子

私と江刺病院との出会いは、昭和62年4月1日新任地江刺病院勤務を命じられました。それから、7年間助産師として勤務させていただき、中央病院に転勤となりました。そこで大きく成長したかどうかは疑問ですが、平成28年4月に縁あって、江刺病院に戻って参りました。総看護師長として2年間お世話になりました。地域の皆様のご期待に添えるような病院を目指して職員と共に努力したつもりでございますが、至らない点をお許しいただきたいと存じます。江刺の思い出いっぱいので退職を迎えることは感無量です。すべての皆様のご支援に感謝いたします。

# 平成29年度 看護科標語大賞決定

看護科では、患者さんの安全・感染予防・看護の質向上に向け、日々活動しています。今回更なる向上を目指し標語を募集しました。今回は、一般公開し、患者さんにも投票していただきました。

立ち止まる 心のゆとり 事故防ぐ

ありがとう 魔法の言葉 笑顔で

我が人生 自分らしく 最後まで

その笑顔 優しい言葉が よい薬

またですか？ お名前確認 何度でも

繋げよう 看護記録で 患者ケア

手洗いで やつけるばい菌 35億

人混みを 避けて過ごそう 風邪予防  
行くのなら マスクを着けて 風邪予防



## 平成29年度 院内業務改善発表会を開催しました

日時：平成30年1月24日（水）17：30～18：40  
場所：当院大会議室

各部署で取り組んだ業務改善や工夫を進めた成果など、以下の8題の発表がありました。参加した職員からは、それぞれの発表後に活発な質疑や意見があり、他部署の取組み内容の情報を共有するなど、たいへん有意義な発表会になりました。

発表された演題は、所属長職員表彰の選考対象となっていますが、職場の活性化や職員の意欲向上と満足度が向上するような発表会となるよう毎年継続して開催していきます。

発表順	部門	発表テーマ
1	事務局 医事経営課	個人未収金の早期回収に向けた対策
2	看護科(5病棟)	看護体制変更に伴う早番勤務の導入と業務の見直し
3	栄養管理科	食事オーダーや食札に関する業務改善について
4	看護科(中央処置室)	大腸カメラ前処置室の環境改善
5	看護科(手術室)	活動報告
6	看護科(3病棟)	3病棟効率UP作戦！
7	薬剤科	透析患者の院外処方箋発行(病棟薬剤業務実施加算の継続と薬品費削減)
8	看護科(透析室)CEセンター	患者満足度の上昇のために～多職種と連携し、コスト削減の実施～

# 送別会

今年も江刺病院を発展・向上させるべくご尽力されてきたスタッフとの別れの季節がきてしまいました。

県立江刺病院 退職者・転出者送別会



3月22日 平成29年度の送別会が開催されました。

今年も残念ではありますが複数のスタッフが江刺病院を離れ、新たな場所へと活躍の場を移します。

皆様には多くのことをご指導いただき、私達も大きく成長することができました。

転勤・退職、進む道は様々ですが、皆様のこれからのご活躍とご多幸を心より祈っております。



これからは私たち皆で一致団結し、知恵をしばって地域住民の皆様のために、安心・安全な暮らしを支えていけるよう努力してまいります。

お別れはつらいですが、残ったスタッフ一同、力を合わせて江刺病院を盛り上げていきたいと思っております。

ありがとうございました！！